

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	川崎町役場	代表者名	原口 正弘		
担当者部署	企画情報課	連絡先電話番号	0947-72-3000		
担当者役職	主事	担当者氏名	松尾 郁代	連絡先E-mail	*****
住所	827-8501 福岡県川崎町大字田原789-2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	伊藤 文徳
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年5月15日	支援・助言	有	令和5年5月16日	636
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年5月16日	支援・助言	14時00分	15時30分	0
				活動時間（分）	90

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	川崎町企画情報課職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	町内及び市内のICT化やDX化への取り組みを進めたいが、上層部の理解と職員のデジタル化への意識に格差があることが課題となっている。住民の利便性向上のため、ICTを活用した「書かない窓口」の設置や、オンライン行政窓口の導入にあたり、町や各課の課題解決に向けたICT化・DX化に対応し得る人材の育成及びデジタルマインドの醸成が必要。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員がDX化の必要性を理解し、現在の業務や部署をまたがる仕事の見直しや統廃合などを行い、それに必要なデジタルの仕組みを構築し、DXによる業務効率化と住民サービスの質を向上させる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	ご自身の会津若松市での経験を基にDX化を推進するためにまず取り掛かるべき「業務の見直し」の重要性を教えていただいた。しかし、本町の現状ではなかなか職員の理解を得られないため、まずは「仕事の愚痴」のような軽いスタンスで各課の課題を引き出し、それをDX化に繋げるというような、職員を巻き込めつつ課題を探るアプローチの仕方をご教授いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	DX化に向けて職員に前向きに取り組んでもらうためのアプローチの方法がわからなかったため、具体例を示していただき大変参考になった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	業務の課題や優先業務の選定方法は今回ご教授いただいたが、この先業務の分析や改善施策の立案等が必要になってくるため、次回以降そちらのアドバイスをお願いしたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートなし 担当者へ事業運営に係るアドバイスをいただいたため	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

なお、＜その他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

